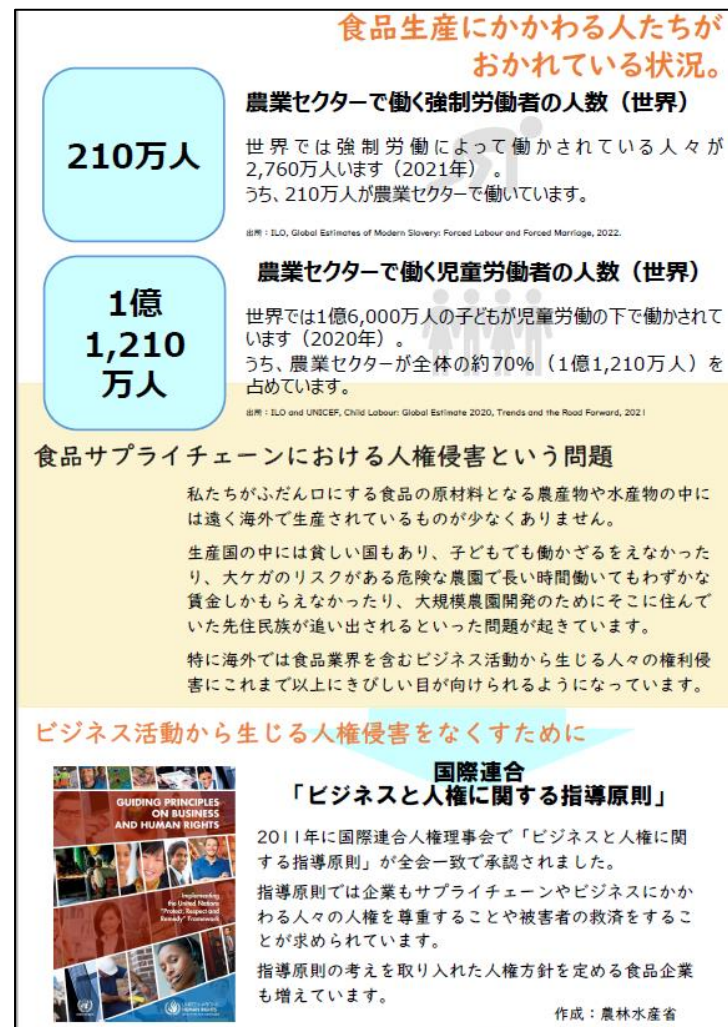


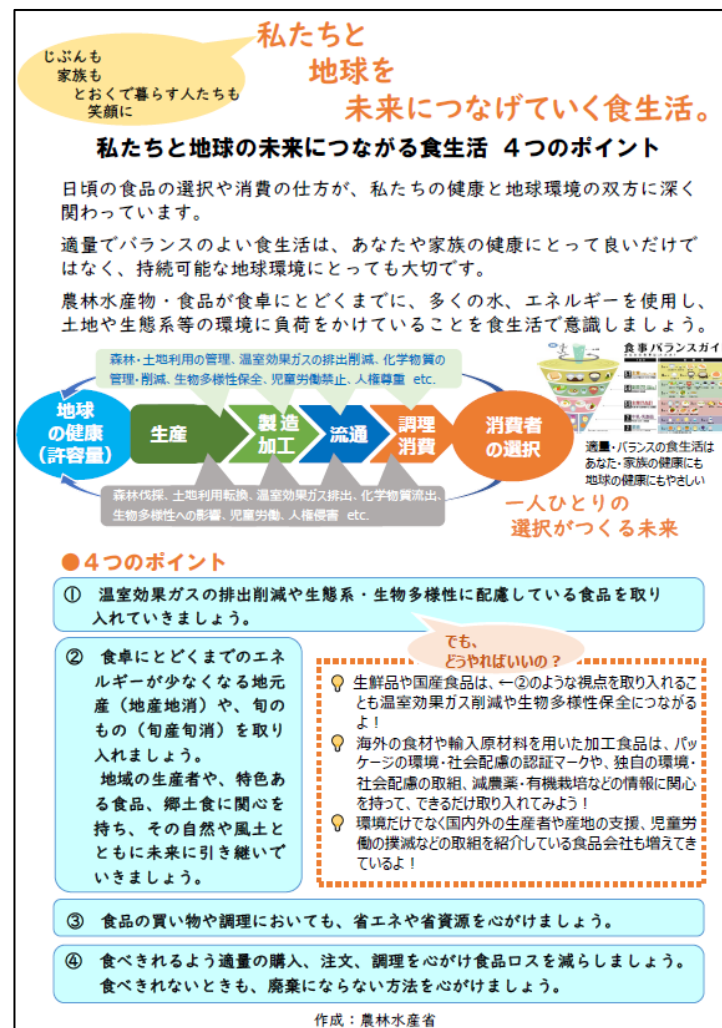
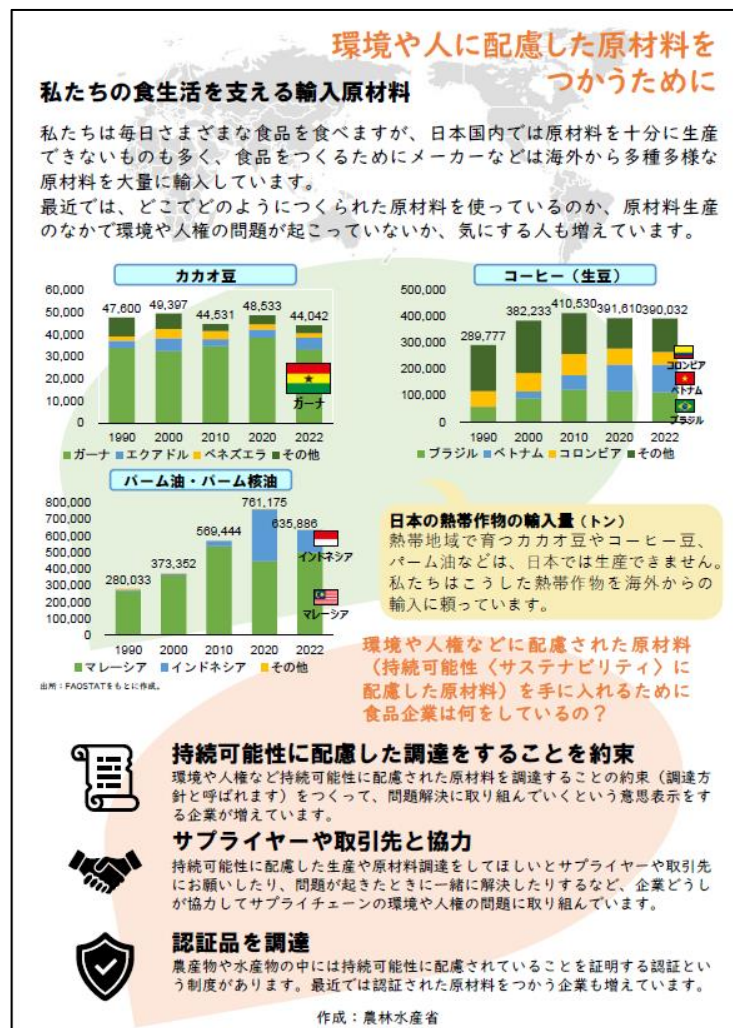
持続可能性に配慮した輸入原材料調達に係る取組に関する消費者向け情報発信

展示パネル



持続可能性に配慮した輸入原材料調達に係る取組に関する消費者向け情報発信

展示パネル



持続可能性に配慮した輸入原材料調達に係る取組に関する消費者向け情報発信

展示パネル

農林水産省も サステナブルな原材料調達の拡大 生産者や食品会社とともに みんなの食卓へ

日本には、海外から原材料を輸入して作られている食品が多くあります。地球環境や人権に配慮して生産された、サステナブルな原材料の調達拡大に向けて、農林水産省では、生産地や食品会社を積極的に支援しています。

① 日本へのカカオ豆の主要供給国「ガーナ」とのコラボ・協力

児童労働問題の解消のためには、カカオ豆生産農家の所得向上が重要です。農林水産省では、ガーナにおいて、ガーナ政府や公的機関と連携・協力し、現地サプライヤー、生産農家、NGOとのワークショップの開催や、専門家を派遣して技術講習会を実施。サステナブルな原材料調達の拡大に取り組んでいます！



② 食品会社の人権尊重の取組を後押し

食品会社による人権尊重の取組に対する理解の深化と取組の促進を図るため、「政府ガイドライン」が公表されました（2022年9月）。農林水産省では、ガイドラインで示された内容について、食品企業において実際に取り組めるよう「食品企業向け人権尊重の取組のための手引き」を取りまとめ、公表（2023年12月）。食品会社に広く周知を行い、取組を後押ししています！

食品企業のサプライチェーンや生産品目等に関する主な人権に関するリスク（例）

サプライチェーン	原材料の生産・調達	原材料の製造・加工	商品の製造・加工	流通・消費
例：強制労働、児童労働、差別、外国人労働者の権利の侵害	例：結核、自由、移住労働者の侵害、差別、不当な労働時間	例：公正な競争の実施、差別、不当な労働時間	例：差別、不当な労働時間	例：差別、不当な労働時間

児童労働が認められている商品の例

農産物	加工品
大豆、小麦、米、とうもろこし、さつまいも、バナナ、オレンジ、リンゴ、梨、いちご、ブルーベリー、アボカド、パセリ、ハーブ、キノコ、海藻、魚介類、肉類、卵、乳製品、チーズ、ヨーグルト、アイスクリーム、チョコレート、お菓子、飲料、調味料、化粧品、医薬品、繊維、木材、紙、プラスチック、金属、鉱物、化石燃料、水、電気、ガス、熱、冷気、暖気、空調、照明、音響、映像、情報通信機器、ソフトウェア、ハードウェア、半導体、電池、燃料、潤滑油、塗料、インク、染料、顔料、繊維、木材、紙、プラスチック、金属、鉱物、化石燃料、水、電気、ガス、熱、冷気、暖気、空調、照明、音響、映像、情報通信機器、ソフトウェア、ハードウェア、半導体、電池、燃料、潤滑油、塗料、インク、染料、顔料	大豆、小麦、米、とうもろこし、さつまいも、バナナ、オレンジ、リンゴ、梨、いちご、ブルーベリー、アボカド、パセリ、ハーブ、キノコ、海藻、魚介類、肉類、卵、乳製品、チーズ、ヨーグルト、アイスクリーム、チョコレート、お菓子、飲料、調味料、化粧品、医薬品、繊維、木材、紙、プラスチック、金属、鉱物、化石燃料、水、電気、ガス、熱、冷気、暖気、空調、照明、音響、映像、情報通信機器、ソフトウェア、ハードウェア、半導体、電池、燃料、潤滑油、塗料、インク、染料、顔料

農林水産省

食品会社とともにつなごう 私たちと地球の未来

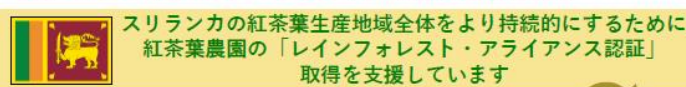
紅茶

よるこびがつなく世界へ

KIRIN キリンホールディングス株式会社

● レインフォレスト・アライアンス認証取得支援

スリランカの紅茶葉生産地域全体をより持続的にするために、紅茶葉農園の「レインフォレスト・アライアンス認証」取得を支援しています



キリンビバレッジ㈱の主力商品「キリン 午後の紅茶」は世界有数の紅茶葉生産国であるスリランカの茶葉を使っています。「キリン 午後の紅茶」にとってスリランカの質のよい紅茶葉は欠かせません。キリングループは国際認証の取得支援を通じて、スリランカの紅茶葉生産がより環境にも人にもやさしいサステナブルなものになるようにサポートしています。

良質な茶葉 樹木環境や茶葉の収穫増加により収入も改善

トレーニング 野生動物を保護、農薬の管理、排水処理、農業・肥料などの化学物質管理、土壌流出の防止 etc.

トレーニング費用 大小さまざまな農業を支援

カエルのマークは認証茶葉に使っている証です！

お店で、認証マークや取組表示のある食品を見つけてみよう！

最近では、認証マークなどで環境や社会にやさしい食品であることを示している商品や、食品会社がパッケージ上にメッセージやQRコードなどで活動状況を紹介している商品もあります。お店で、宝さがしのつもりで、認証マークや取組表示のある食品を探して、お気に入りの商品を見つけてみましょう！

レインフォレスト・アライアンス認証

レインフォレスト・アライアンス（本部：米国）という国際的な非営利団体によって管理されている第三者認証。環境、社会、経済の3つの点で持続可能な方法で生産された原料を使用した商品に、目印のカエルをあしらった認証マークが表示されます。農園の生産者から、加工等のサプライチェーン（供給過程の事業者）にいたる厳格な基準を満たすことが求められます。

- 日本国内で販売・提供されている主な商品：チョコレート、コーヒー、紅茶、バナナなど
- レインフォレスト・アライアンス認証が重視するサステナビリティ
 - 環境**
 - 森林と生物多様性の保全
 - 土壌・水源保全
 - 気候危機対応 etc...
 - 社会**
 - 児童労働・強制労働禁止
 - 労働者の人権尊重・生活向上 etc...
 - 経済**
 - 生産性向上
 - 収入源の多様化
 - コスト削減 etc...

http://ra.org/ja/

作成：農林水産省 協力：キリンビバレッジ株式会社

持続可能性に配慮した輸入原材料調達に係る取組に関する消費者向け情報発信

展示パネル

食品会社とともにつながろう 私たちと地球の未来

水産 **NISSUI** 株式会社ニッスイ

● 認証水産物（水産エコラベル）の調達を増やす

海の資源は限りがあり、このまま対策をしないと海の資源が枯渇して、さまざまな問題が発生してまいります。ニッスイグループは水産資源の持続可能性向上に取り組んでおり、その一つとして、MSC認証やASC認証など国際的に持続的であることが保証された水産物の調達を進めています。ニッスイグループは、2030年度までに調達する水産物の100%を持続可能性が確認できるものにするという目標を掲げています。また、持続可能な認証水産物そのものが増えるよう、水産エコラベルの普及活動も積極的に行っています。

MSC認証水産物の普及貢献が認められ、MSCジャパン・アワード2024に選出されました！

水産資源を獲りすぎてしまうと... 生態系バランス 様々なものが失われるように

豊かな海の資源を守る責任

MSC認証とMSC「海のエコラベル」とは

海の自然や資源を守るために設立されたMSC（海洋管理協議会）による認証制度です。MSC「海のエコラベル」は水産資源と環境に配慮したサステナブルな漁業で獲られた水産物に付けることができます。認証を取得するためには、第三者の審査機関による厳格な審査が必要です。MSC「海のエコラベル」がついた商品を選ぶことで、私たち消費者も海を守る手伝いができるのです。

MSC認証の3原則

- 過剰に水産物を獲りすぎないこと
- 生態系を壊さない漁を行うこと
- これらを守るためのルールを決めて適切に管理していること

こんなに色々！ MSC「海のエコラベル」商品 スーパーやおうちでも探してみよう！

サンプルを見て確認してみよう！

ASCラベルとは

責任ある養殖業に関する水産エコラベルはASC認証です。環境に大きな負担をかけず、社会や人権にも配慮した養殖場で育てられた水産物にはASCラベルを表示できます。

海のエコラベル MSC認証 www.msc.org.jp MSC-C-51733

作成：農林水産省 協力：株式会社ニッスイ

食品会社とともにつながろう 私たちと地球の未来

チョコレート **meiji** 株式会社明治

● スマイルカカオプロジェクト

「作る人も食べる人も、みんなが笑顔になるように」という思いを込め、有楽製菓は2019年に『スマイルカカオプロジェクト』を立ち上げました。カカオ原料を通常より高い値段で農園から購入したり、カカオの栽培技術を指導したりすることで生産者の暮らしを改善し、子どもたちが働く必要のない環境づくりを目指しています。

2022年には主力商品「ブラックサンダー」に使用するカカオ原料の全てを、2024年には有楽製菓のチョコレート商品に使用するカカオ原料の全てを見学労働ゼロに取り組む原料（スマイルカカオ）に変更しました。

スマイルカカオプロジェクト ロゴマーク

「作る人も食べる人も、みんなが笑顔になるように」という思いを込め、有楽製菓は2019年に『スマイルカカオプロジェクト』を立ち上げました。カカオ原料を通常より高い値段で農園から購入したり、カカオの栽培技術を指導したりすることで生産者の暮らしを改善し、子どもたちが働く必要のない環境づくりを目指しています。

チョコレート **meiji** 株式会社明治

● メイジ・カカオ・サポート

明治は2006年から独自のカカオ農家支援活動「メイジ・カカオ・サポート（MCS）」に取り組んでいます。カカオ農家への技術支援や、農機具を寄贈し、カカオ豆の品質向上や生活向上を支援しています。また、持続可能なカカオ豆生産を目指して、児童労働、森林減少などの社会課題の解決にも取り組んでいます。また、2026年までにMCSで農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆の調達を100%にすることを目指しています。

meiji cocos support MCS

お茶 **伊藤園**

● 茶産地育成事業

お茶の農園では、少子高齢化による後継者不足が深刻な問題になっています。そんなお茶農家の課題解決のために、伊藤園は1976年に「茶産地育成事業」を始めました。契約農地から茶葉を全て買い取ったり、荒れた農地を茶園に作り変えるなど、日本の農業のサポートに取り組んでいます。最近では茶農家のための技術開発にも力を入れています。

茶殻リサイクルシステム

急須でお茶を淹れた後に残る茶殻のことを「茶殻（ちやがら）」といいます。「おーいお茶」など茶系飲料の生産では、年間56,600トンもの茶殻が出ています。（2023年度）茶殻を有効活用するために、伊藤園では養や文房具などにアップサイクルしています。茶殻には緑茶と同じカテキンなどの有効成分が残っているの、抗菌・消臭の効果も期待されています。

作成：農林水産省 協力：有楽製菓株式会社、株式会社明治、株式会社伊藤園